

- 時 : 2021年2月25日(木)
- 場 : 津市白山町大三公民館 多目的ホール
- 参加 : 井谷、市川、海老原、須賀、長野(記)、吹上、森下、森松

① ちょっぴり身体教養体操

② 活動報告(1/29~2/24)

◆【1月30日、岡田文化財団様より2021年度助成活動に選考していただきました。】

里山ばんざい芸術祭 ~市民創作劇場~に対する助成です。

↓

心を新たに、よい活動にしたいと思います。よろしくおねがいします。

◆【2月12日、津市文化振興課と2021年度活動内容に関する協議がありました。】

- ・ 令和三年度事業スタートに関し、2020.1月15日協議済みの内容(津市の文化政策に関わる活動内容、(仮)津市文化芸術活動コーディネーターといった称号に関する諸々。
- ・ コロナ禍を一年経験して、特別に今年行うべき事業内容をどのように協議していくのか？

↓

部署内検討していただけるということです。

◆【2月23日、鈴木牧場珠の牧を訪ねました。】 伊藤、尾崎、内藤(徹、智美)、長野

- ・ 白山町元取公民館~トラッキングしてみました。
- ・ ゆっくりしゃべりながら登って約90分。小川があり、石票のある分かれ道があり、けっこう勾配のある林道。

子ども達の身体づくり・感性への刺激にとっても良い道のりでした。

また、自然と動物と人間の営みが存在する珠の牧さんの山地酪農を、今年も自然体験活動の場にさせてもらいたいと思いました。

↓

「小川のせせらぎ、風の音、鳥の鳴き声を聞きながら、息を切らせ黙々と目的地を目指して歩く。」
今!このことだけでも十分に必要なことと思います。



訪問者を観察している牛たち



てっぺんで、みんなで朝を迎えるのもいいな!

③ 次年度の（R3）活動を空想してみよう。

今回意見交換の題材



仕事

（各自それぞれ）

半社会貢献活動

（森劇の中の、
津市の文化政策に関わる
公益性の高い活動）

ボランティア活動

（自分のやってみたいことで、
好きなことで、自分以外の人のためにも
なること♡。）

各自の仕事の栄養に
なっても嬉しいし
新しい仕事に繋がっても
いいな♡

ここから、
森劇の新しい半社会貢献
事業が生まれたらよい。

🌲🌲🌲 2020年 コロナ過での活動を通しわかったことの一つとして 🌲🌲🌲

感じること（疑うこととも言い換えられる、疑問を持つこと。）と、考え模索し続けていくこと、
そして全身を通して共有できるどんな小さなことでもいいのでやってみることこそが、
『何か』という定まらないみんなで生きていく方法を生み出す機会になるだろうこと。

例えば、“新しい生活様式” などと言う言葉に翻弄され、一義的にわかった気になっている大切なことは
かなり多いはず。 さて、三密を避け、消毒をしまくり、ワクチンを打つことでよい未来は来るのかな？



頭を使い、身体を使い、誰かに呼びかけ、動くしかない。



自分の好奇心（ああ、本質を見たい、本質に近づきたいな～♪といったこと）を試みしてみる機会を持つ場を
つくってみることがよいのではないかな？



創作 **ボランティア活動**



意見交換！！ 本当にやるか？やらないか？は、まあ置いておいて、試してみたいことが自分の中に
あるか？どうか？ 空想しながら言葉にしてあらわしてみましよう。

（注）

・それぞれの意見

*周囲からの意見

◦まとめながら長野が感じたこと。

【意見のみを掲載します。……雑談にも素敵な意見ありましたが、それは参加者がそれぞれに共有させていただきます。】

- 宿泊施設：ベットのみの提供＝不要な物をなるべく排除して非日常空間を満喫してもらう、
星空や獣たちや森の静けさなど体感することで気づけることや
リフレッシュできることあるのではないか？
手の空いている高齢者が活躍できたらいいな。
*人材と環境はあるのでたった一日でもやってみたいなあ。
- お茶畑ごと体験：昔は家々にお茶の木を持っており自宅分のお茶はまかなえていた。また、子どもころ
茶葉も見作業を手伝わされていた。放置された茶畑や、すでに廃棄された畑も多くなって
いる。もったいない。
*各家庭でまかなっていた、醤油、みそ、お茶、漬物つくりやら、他に出しを取る作業やらも消滅してい
るとしてもいい状況。大切な日本文化の伝承事業でもあるよね。
- ! 本質! というもの：自分がいろいろ模索していること、よいなあと感じる価値観、それが本質に対する
興味なのだなと漠然と感じる。
何かは今不明ながら「本質」を共有するようなことがやりたいと思う。
*今、とどまってあれこれ考えることが減っている。本質などとは程遠いところでの日常生活が流れてい
る。「本質」をそれぞれが感じ探る活動は、みんな（専門家や子どもといった垣根を超えて）がたのしめ
る素敵な活動になるだろう。
- デザインに関する講座：デザインするという考え方 = 一つのコト・モノをいろんな方向から見てみる
感じてみる判断してみるといったことを、複数の人と共有してみたい。
*モノの見方考え方が一律になってきている現代、大切なこと。
- 薪割ができるイベント：黙々と薪を割るといったことのできる場所があったらいいな、と思う。
*森林保護にもつながっていけるだろうし、単なるストレス発散にもとても求められる場所だと思う。
心と体に今必要なこと。
- 小さな単位での創作活動：縦割り（年齢）の、無関係なメンバーで何かやってみる。例えば、演劇としても
くじ引きなんかで役を決めてそれに取り組むとどんな作品ができるのだろう？と
ワクワクする。
大人という役割だったり、線引きすることに違和感があり、もっと自由にできたら
おもしろいと思う。
▪ かける期間や、イベントの大きさ内容を吟味して実施してみると面白い化学反応が起こることが
十分に予想できると思う。 こういったことが、本当にそのことの興味を持ち気持ちをもって
実施することができる人がやってみることに意味があると思う。

- ・ホームステイ：時間と能力のある高齢者が多くいらっしやるとすると、ホームステイなどができたらいいと思った。
 - ・子ども里山そうぞう学校事業に関してホームステイのこと考えたが、まだその時は来ない。けれど、一つ頭に置いておいて上記と同様に、このことを継続的に感じ・考え・行動してくれる人が出るといいな～と願う。
- ・学校のあり方に大きな疑問を感じる。もっと、自由で、もっと自己有用感を認めてあげられるような内容の活動が必要だと思う。
 - *学校という場を変えていくことは無理といってもいいくらい遠いこと、でも何か自分たちにもできることで、提案できることは諦めずに伝え続けようとする必要があるのではないかと思う。
 - *子ども里山そうぞう学校をやって来て思うことは、子どもを自由にさせて良いところやその子その子のユニークなところを一生懸命見つけていくといったことは重要ではなく、大人が一人の人間として対応し自分の意見をしっかり伝えることが（ある意味そんなことが）大切なことのように感じる。子ども達は、「感じ」「考え」「伝える」ことを繰り返すとしっかりした考えを持つようになる（子どものアンケートを例として紹介）、正直の思うことは自分の意見を持ちそれを行動に変えていく子ども達の成長に関わったほうが楽しくてやりがいがあるな！といったことがある。

所感：長野

どの意見も、「自分（面白さ・興味）」「地域（不特定多数）」「世界（自然環境）」といったバランスの良い視野を持っているのは素晴らしく、活動（単に声にしてみる場としても）の継続も大きな要因と自負したい。

今現在、次年度の活動に関するアンケートを回収している最中です。

完全記述式の想像力・思考を伴う面倒な内容ながら、その回答は活動当初感じた自分本位の内容は無く小さな子どもまでが広い視野を持った内容なのに驚くと同時に、意識が育っているという事実なのではないか？と思う。

意識は、良いイベントをしていただけでは育たないと思う。その中に、自分で自分の考えに出会い考え誰かと共有することがなければならない。それには単純に継続する時間の長さ、活動の量（もちろん質も）がいるということ。

PDCFA を繰り返しやり続け他者と共有すること、そして次年度はその実感を信頼して、次年度に向かいたい。未来を見据えたボランティア活動が生まれてくることも楽しみにしたい。



大三公民館！ 良い空間！！